

JILPT 資料シリーズ

No.92 2011年 5月

キャリア表現インデックスの開発

—職業相談等における就職支援の効果を検討するために—



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

キャリア表現インデックスの開発

— 職業相談等における就職支援の効果を検討するために —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

生涯にわたるキャリア形成を支援するためのキャリア・コンサルティングや職業相談の重要性は広く認識されているものの、その効果を何により把握するかという点については、方法や内容が確立されているとは言い難い現状にある。

求職者に対するキャリア・コンサルティングや職業相談の効果を把握するための指標としては、就職率が考えられるが、労働市場の動向等、コンサルティング内容以外の外的な環境要因が大きく影響する。またそもそもキャリア・コンサルティングは、「労働者がその適性や職務経験等に応じて自ら職業生活設計を行い、これに即した職業選択や職業訓練の受講等の職業能力開発を効果的に行うことができるよう、労働者の希望に応じて行われる相談」（第7次職業能力開発基本計画）と当初から定義されていることにみられるように、自らキャリアを設計し切り開いていくこと—自律的なキャリア形成—ができるようになるための支援であることから、相談者の自律的なキャリア形成にとってどれほどの効果があったのかという観点から、その効果を把握する必要があるものと言える。

本資料シリーズにおいては、このような問題意識の下、キャリア・コンサルティングや職業相談について、キャリア・コンサルティング等により生じたキャリア形成に関する相談者の内部の変化を、「求人企業等の他者」に対して、「相談者自ら」、「効果的に伝えていくことができる」という就職に効果的な言語活動に着目して、効果指標の開発を行ったものである。効果指標の開発に当たっては、既存の市販本記述内容の整理、需給調整現場の職員に対するアンケート、キャリア・コンサルティング場面での自己及び他者評価アンケート等多用な手法を用いた。本資料シリーズで提示したキャリア・コンサルティング等の就職支援に関する効果指標については、今後とも精査し検討を進めていかなければならないと認識しているが、キャリア・コンサルティング等研究に対する新たな提案を含んだものとなっていると考えられる。

このため、本資料シリーズを労働者のキャリア形成支援に関わる方々の参考資料として供するものである。本資料シリーズが、今後のキャリア・コンサルティング等の発展に貢献できるものとなれば、幸いである。

2011年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山口 浩 一 郎

執筆担当者

氏名	所属		執筆分担
榎野 潤	労働政策研究・研修機構	主任研究員	第1章～第4章
柴田恵里佳	労働政策研究・研修機構	臨時研究協力員	第3章3節イ、 第4章資料1

目次

第1章 総論	1
1 目的	1
2 研究の立脚点	2
(1) 職業発達理論	2
(2) 機械モデル	2
(3) 有機体モデル	3
(4) コンテキスト主義	4
(5) 研究の立脚点	7
3 職業相談等による就職支援の効果	8
(1) 就職支援のモデル	8
(2) コンテキスト主義に基づくマッチングの考え方	9
(3) キャリア表現インデックスの開発	11
4 各章の要約	13
(1) 職務経歴書における効果的な言語活動(第2章)	13
(2) キャリア表現インデックスの項目の作成(第3章)	15
(3) キャリア表現インデックスの開発(第4章)	21
5 考察	26
参考文献	28
第2章 職務経歴書における効果的な言語活動	31
1 目的	31
2 方法	31
(1) 資料収集の方法	31
(2) 研究で扱うノウハウ	32
(3) ノウハウの抜粋の方法	33
(4) ノウハウの整理	33
(5) ノウハウ本の間で共通するポイントの抽出方法	33
3 結果1：応募書類の説明	34
(1) 自己分析の意味内容	34
(2) 職務経歴書の意味内容	34
(3) 職務経歴書と履歴書の比較	35
4 結果2：職務経歴書作成のノウハウ	37
(1) 仕事上の経験のふり返り	38

(2) 仕事上の経験の整理	39
(3) 応募先企業との接点	39
5 結果3：職務経歴書における効果的な言語活動	40
(1) 仕事上の経験の具体的記述	40
(2) 職務経歴の見せ方の工夫	42
(3) 応募先企業へのアピール	42
6 考察	43
参考文献	44
第3章 キャリア表現インデックスの項目の作成	81
1 目的	81
2 調査1：質問項目の作成	81
(1) 資料の収集	81
(2) 面接試験の意味内容	82
(3) 面接試験におけるノウハウに関する記述の抜き出しと整理	84
(4) 面接試験において効果があるとされる言語活動の項目の作成	85
3 調査2：公共職業安定所における職業相談担当職員の評価	89
(1) 方法	89
(2) 結果	90
(3) 小括	108
4 考察	108
参考文献	109
資料1：面接試験における効果的な言語活動	110
資料2：アンケート票	128
第4章 キャリア表現インデックスの開発	132
1 目的	132
2 キャリア表現インデックスの開発	133
(1) 方法	133
(2) 結果	133
3 ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングの効果に関する調査	138
(1) ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティング	138
(2) クライエントの評価	139
(3) コンサルタントの評価	140
4 考察	141
参考文献	143